

笑顔になあれ

2025
Vol.05
MIZ

- 教えてドクター
まずはあなたの
大腸の健康をチェック!! 2
こうち内科・内視鏡クリニック 院長
河内 修司先生
- あなたの街のMIZ紹介
溝上薬局 長住店 4

地域のみなさまに寄り添った
日常的な健康習慣をお手伝いします。



溝上薬局のご案内

溝上薬局 長住店

薬歴サポートシステムを導入。
薬剤師が薬歴サポートシステムで、患者さまのお薬服用履歴、アレルギーや体質、疾患などを確認し、患者さま一人ひとりに合った服薬指導や情報提供を行います。

LINEで処方せん送信。
LINEにお友だち追加して、簡単に処方せんを送信。薬局での待ち時間が短縮でき、感染予防にもつながります。また、ご家族のお薬情報もまとめて管理が可能です。お薬の受け取りは処方せん発行日を含め4日以内に。(受け取りの際は処方せん原本を忘れずにお持ちください)



教えてドクター

こうち内科・内視鏡クリニック

院長: 河内 修司先生

テーマ: 大腸がん、大腸ポリープについて

患者数が最も多い
大腸がんの早期検診の意義と中身について。

年間5万人以上が亡くなっているという「大腸がん」。実は、とても簡単な検診や内視鏡検査で、確実に早期発見・治療ができるのです。総合病院等で長年、消化器系の診療・研究にあたってきた専門医の河内先生に、大腸がんや大腸ポリープについて伺いました。
→詳細は中面をご覧ください。



溝上薬局って、どんな薬局?

人々の健康に寄り添う地域密着の薬局。

株式会社ミズが運営する溝上薬局は、佐賀の地で1910年に製薬業から始まり、佐賀県・福岡県をはじめ長崎県・熊本県でも調剤薬局を展開しています。「あなたのそばで家族のように」を理念に、一人ひとりの健康を長くサポートし、皆さまの健康にお役立ちできるよう、地域に寄り添った「家族のような」存在を目指します。調剤薬局のほか、地域密着のドラッグストア、調剤薬局を併設したコンビニエンスストア、化粧品専門店、有料老人ホーム、漢方相談薬局、高齢者向け運動教室などを運営し、地域の皆さまの健康寿命延伸に貢献できるよう取り組んでいます。



溝上薬局 長住店の特徴は?

お薬の処方以外に どんな相談が出来ますか?



処方せんが無くても、普段の生活で気になる体調不良や、生活習慣、介護のことなど遠慮なくご相談ください。地域のかかりつけ薬局として、お悩みやご不安に丁寧に向き合います。

ご相談項目・情報提供の一例

- 栄養相談(予約制)**
薬剤師と管理栄養士が連携して、患者さまの病歴等を考慮した食事のアドバイスやレシピ作成を行います。
- 健康相談**
日頃の体調に関するご相談をはじめ、血圧・血糖値や病院での検査結果のとらえ方などをアドバイスします。
- フリーペーパー「食べるおくすり」**
管理栄養士が年4回作成。健康づくりのための食事や栄養について、身近なものをネタにわかりやすくご紹介。

お薬を受け取った後の フォローについて教えてください。



お薬の副作用や体調に関して、LINEやショートメッセージ、電話でアフターフォローを行なっています。必要に応じて処方医にも確認しながら、より良い治療をサポートします。

利用者に便利なサービスを 教えてください。



地域包括ケアシステムの一員として、薬剤師が患者さまのご自宅やご入居先に訪問し、医師の処方せんをもとにお薬のセットや薬剤管理を行う在宅医療に力を入れています。また「いきいきセンターふくおか」と連携しており、積極的に地域に関わって貢献していきます。

NEW 閑静な住宅街に誕生した地域密着の薬局です。

「溝上薬局 長住店」は、2025年5月にオープンした調剤薬局です。調剤薬局としての役割はもちろん、日頃の体調に関する健康相談や、管理栄養士と連携した栄養相談など、さまざまな分野で地域の医療と健康づくりに取り組んでいきます。隣接の「こうち内科・内視鏡クリニック」と共に、地域密着の存在として、皆さまの健康管理をサポートいたします。ぜひお気軽にお越しください。



溝上薬局 長住店

所在地 〒811-1362 福岡県福岡市南区長住5丁目4番26号
アクセス 西鉄バス「長住4丁目」バス停より徒歩5分 駐車場 27台
TEL 092-403-6800
FAX 092-403-6777
営業時間 月～水曜・金曜 9:00～18:00 土曜 9:00～16:00
定休日 木曜・日曜・祝日



大腸がんについて正しく理解しよう

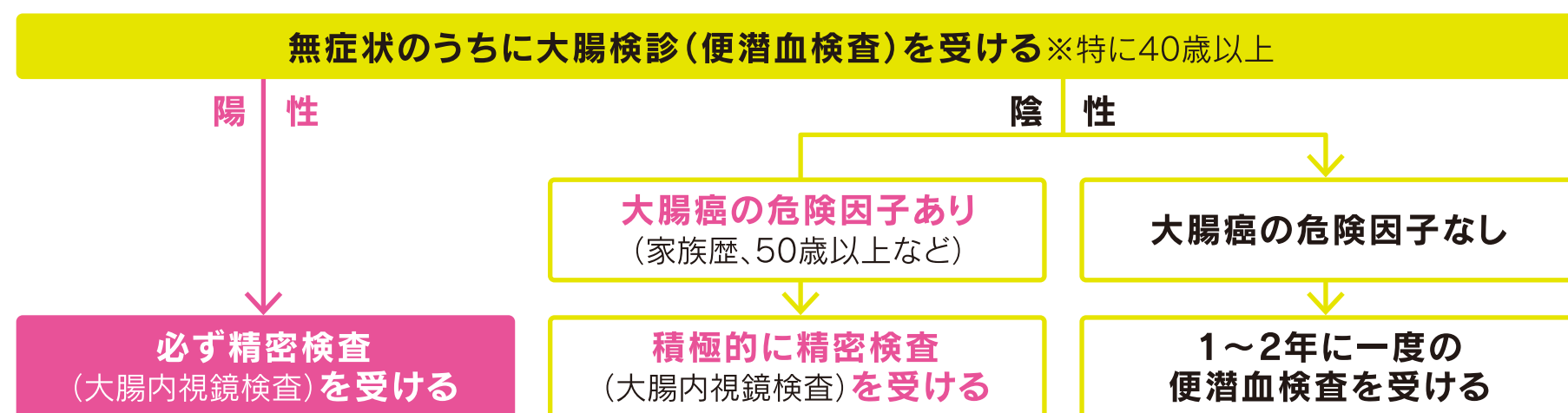
大腸がんは早期に発見できれば最も治りやすいがんのひとつです。

まずは手軽な便潜血検査で、続いて内視鏡検査で大腸の中の不安材料を取り除いておきましょう。

早期発見が一番の予防！

早期の大腸がんは開腹術を含む外科的切除を実施することなく、内視鏡でそのまま切除することも可能です。症状のない早期の状態でがんを発見できると、リンパ節転移がなく、メスを体に入れることなく内視鏡だけで治療できる可能性が高くなります。これこそ、大腸がんの早期検査・早期発見をおすすめする最大の理由です。逆に自覚症状が出てからでは、すでに進行していることも多いため、無症状の時から積極的に便潜血検査や大腸内視鏡検査などの検診を受けていきましょう。特に40歳を過ぎたら、健康診断の大腸に関する検査にも積極的に目を向けてみてください。

まずは便による「大腸検診」からスタート



大腸内視鏡検査とは？

内視鏡という柔らかい管状の検査器具で大腸内をカメラで映し、異常がないか視覚的に検査します。内視鏡は肛門から入れますが、不安な方には鎮静剤も使用。痛みなどの心配はありません。モニターに映される大腸内部の状態をリアルタイムで確認しながら、必要に応じて生検(組織の一部を採取して病理検査を行うこと)やポリープ切除などの治療的処置も実施。検査と共に処置も日帰りで完了できるため、日常生活への影響もほとんどありません。



検査前は完全個室の前処置室(写真右)で下剤を飲み、リラックスしてタイミングを待ち便を出し切ります。その後、処置室(左)で内視鏡がとらえた腸内をモニターに映して観察します。

INFORMATION

こうち内科・内視鏡クリニック

何でも相談できる「街のクリニック」 気軽に内視鏡検査を受けましょう！

24年間の勤務医時代に培ってきた消化器内科医としての専門性を生かし、大腸や胃の内視鏡検査・治療に力を入れています。検査は日帰りで苦痛の軽減にも対応しているため、気軽に検査が受けられます。また風邪など体調に不安がある方もお気軽にご相談ください。地域のみなさまの健康維持に貢献できる存在となるよう努めてまいります。

クリニックの特徴

- 診療科目＝消化器内科、一般内科
- 経験豊かな院長が、胃・大腸の内視鏡検査を担当。小さな病変も発見できます。
- プライバシーを重視しリラックスできる前処置室として、トイレとテレビを備えた快適な個室も用意。初めての方でも安心して内視鏡検査が受けられる環境を整えています。
- 発熱外来や、人間ドック、ワクチン接種にも対応しています。



増加傾向にある大腸がんの患者数

日本では、肺がんや胃がんを抑えて、大腸がん患者が最多。厚生労働省の2023年のデータによると、1年間で5万3,131人ものがんが大腸がんによって亡くなっているそうです。特に75歳以上の高齢者の割合は増加し続けており、食生活の欧米化も要因の一つといわれています。消化器系の最終段階を担う大腸の働きとは、水分を吸収することです。長さは約1.5メートルから2メートルもあり、小腸で栄養を吸収された食物の残りかすを24時間～72時間かけてゆつくりと先へ送り、便を作って末端の直腸にためます。

進行したポリープが大腸がんになる？

腺腫は基本的に良性腫瘍ですが、経過とともにさまざまな遺伝子変異の影響を受けてがんになる可能性があります。しかし全ての腺腫ががんになるわけではなく、年月を経て大きくなるほど「担癌率(Ⅱ)がんが混じっている率」が高まるとされています。研究では、10ミリを超えるとがん化率が10～25%に上昇するとも。そのため、小さいうちに取り除くことが重要。現在、6ミリ以上の大腸ポリープは内視鏡で簡単に切除することが可能で、推奨もされています。



大腸がん・ポリープともにサイズが小さい場合は自覚症状はありません。しかし、進行すると、便秘異常(便秘・下痢)、お腹が張る、腹痛などのほか、便に血が混じるといった症状が見られます。この段階になると内視鏡切除が難しく、既に転移していることも少なくありません。

だからこそ、小さなうちに発見・処置できるよう、自覚症状がなくなるとも検査を受けることが大切なのです。

教えてドクター



テーマ…大腸がん・大腸ポリープについて

検査と同時にポリープの切除も可能な大腸内視鏡検査で早期発見

国内の罹患数・死亡数の両方において、男女とも上位3位に入る大腸がん。患者数が年々増加傾向にある一方で、早期発見・早期治療も可能です。自覚症状がない大腸がんの予防方法や内視鏡検査について専門医に伺いました。

今回教えていただいたドクター



こうち内科・内視鏡クリニック
院長 河内 修司先生

1994年
福岡県立筑紫丘高校卒業

2001年
熊本大学医学部卒業
九州大学大学院病態機能内科学入局

2002年～
福岡赤十字病院や九州大学病院など複数の関連病院に勤務

2015年～2024年
千早病院 内科医長、消化管・肝胆膵センター長など歴任

2025年
こうち内科・内視鏡クリニック開院